

平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月27日

上場取引所 東

上場会社名 東和フードサービス株式会社
 コード番号 3329 URL <http://www.towafood-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務グループ次長
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日

(氏名) 岸野 禎則
 (氏名) 石塚 実

TEL 03-5843-7666

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	7,714	1.4	401	△11.0	406	△9.5	207	△15.3
26年4月期第3四半期	7,608	1.5	450	△7.8	449	△5.5	245	△2.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	102.05	—
26年4月期第3四半期	120.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	6,884	4,369	63.5
26年4月期	7,253	4,213	58.1

(参考)自己資本 27年4月期第3四半期 4,369百万円 26年4月期 4,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	10.00	—	15.00	25.00
27年4月期	—	10.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	3.3	612	15.4	620	16.7	343	30.7	168.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年4月期3Q	2,046,600 株	26年4月期	2,046,600 株
27年4月期3Q	8,635 株	26年4月期	8,590 株
27年4月期3Q	2,037,985 株	26年4月期3Q	2,038,025 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における外食業界は、個人消費に回復傾向が見られるものの、消費税増税、円安進行による原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇、夏場の台風等の天候不順の影響により、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社は「味覚とサービスを通して都会生活に安全で楽しい食の場を提供する」という経営理念のもと、「客数回復、ファンづくり、質の経営」を最重要課題として、コンセプトの「あったら楽しい」店づくり、「手の届く贅沢」の提供を具現化するため、メニュー改訂を中心とした既存店のブラッシュアップや、ロールプレイング中心の集合研修実施等による接客サービスの向上に、積極的に取り組んでまいりました。

目立つ黄色のベンチコートを着用して店顔(店頭)でのお声掛けや、料理提供時のお声掛け、会計時の綺麗な硬貨やお札の釣銭等、お客様の入店から帰店のプロセスの中での様々な取り組みは、確実に成果を上げてきております。経費削減面では、配送費や販促物等を根本的に見直し、収益力向上に繋げております。また、人事面では、女性管理職を積極的に登用するなど、人材の選抜・抜擢にも力を注いでまいりました。ISO22000(食品安全マネジメントシステム)認証取得に関しましては、引き続き全社一丸となって取り組んでおります。

新規出店・業態変更では、平成26年12月に、スーパーブランド街と呼ぶに相応しい銀座2丁目の中央通りに、「椿屋珈琲店 銀座新館」を新規出店、銀座の街並みに合った重厚感のある内装・雰囲気は大変ご好評をいただいております。また、11月には、改装のため休業していた「ダッキードック相模大野ステーションスクエア店」及び「ダッキードックキッチン聖蹟桜ヶ丘店」をリニューアルオープン致しました。食事メニューを強化した両店は、レストラン街に見合ったモデルチェンジに成功、オープン以降、対前年比130%強の売上を続けております。更に11月には「銀座椿屋珈琲横浜ポルタ店」を期間限定オープン、「椿屋カフェコレットマーレみなとみらい店」を新規出店致しました。

以上の結果、第3四半期会計期間の売上高は、27億23百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は2億16百万円(同2.7%減)、経常利益は2億19百万円(同1.3%減)となりましたが、第3四半期累計期間については、売上高は、77億14百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は4億1百万円(同11.0%減)、経常利益は4億6百万円(同9.5%減)となりました。

なお、第4四半期に入りましても、平成27年2月にリニューアルオープンした椿屋カフェららぽーと横浜店(旧カフェココナッツららぽーと横浜店)は、売上が前年を大きく上回っております。これら新店効果に加えて、質を高めたメニュー政策等により2月以降は前年をクリアすることが見込まれます。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間における流動資産は、前事業年度末に比べて3億44百万円減少し、19億91百万円となりました。これは、現金及び預金が4億9百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて24百万円減少し、48億93百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度に比べて3億68百万円減少し、68億84百万円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間における流動負債は、前事業年度末に比べて4億91百万円減少し、13億円となりました。これは、一年内返済予定の借入金が3億47百万円、未払法人税等が1億53百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて33百万円減少し、12億14百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べて5億25百万円減少し、25億14百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間における純資産合計は、前事業年度末に比べて1億56百万円増加し、43億69百万円となりました。これは、利益剰余金が1億57百万円増加したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月30日に公表いたしました、平成27年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該当見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,789,996	1,380,559
売掛金	70,141	77,997
SC預け金	208,659	283,128
商品及び製品	29,083	34,876
原材料及び貯蔵品	69,006	72,591
前払費用	107,704	83,103
繰延税金資産	39,924	39,924
その他	21,319	19,602
貸倒引当金	△451	△459
流動資産合計	2,335,383	1,991,324
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,051,903	1,078,807
工具、器具及び備品(純額)	163,858	185,789
土地	1,118,599	1,118,599
リース資産(純額)	380,367	359,376
その他(純額)	6,144	4,542
有形固定資産合計	2,720,873	2,747,114
無形固定資産		
投資その他の資産	13,004	12,900
長期前払費用	16,084	21,727
繰延税金資産	142,955	143,058
差入保証金	501,154	494,702
敷金	1,497,305	1,446,610
その他	26,261	26,900
貸倒引当金	△1	0
投資その他の資産合計	2,183,759	2,132,998
固定資産合計	4,917,637	4,893,013
資産合計	7,253,021	6,884,338

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,339	241,641
1年内返済予定の長期借入金	503,192	156,085
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
リース債務	153,350	148,631
未払金	349,102	291,288
未払賞与	107,528	48,990
未払費用	69,481	107,179
未払法人税等	199,410	45,531
未払消費税等	65,861	130,629
預り金	9,609	38,276
店舗閉鎖損失引当金	1,163	-
資産除去債務	4,600	-
リース資産減損勘定	60	34
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,791,746	1,300,333
固定負債		
社債	370,000	310,000
長期借入金	231,742	271,455
リース債務	260,382	242,368
退職給付引当金	269,693	273,061
資産除去債務	95,312	96,248
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,248,114	1,214,118
負債合計	3,039,860	2,514,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	2,871,587	3,028,616
自己株式	△19,098	△19,215
株主資本合計	4,208,839	4,365,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,320	4,135
評価・換算差額等合計	4,320	4,135
純資産合計	4,213,160	4,369,886
負債純資産合計	7,253,021	6,884,338

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	7,608,437	7,714,962
売上原価	2,057,916	2,074,618
売上総利益	5,550,520	5,640,344
販売費及び一般管理費	5,099,627	5,239,134
営業利益	450,893	401,210
営業外収益		
受取利息	174	170
受取配当金	511	493
受取家賃	17,776	19,316
広告料収入	5,166	-
その他	2,498	4,661
営業外収益合計	26,127	24,642
営業外費用		
支払利息	23,168	14,969
不動産賃貸原価	1,400	1,306
その他	3,444	3,288
営業外費用合計	28,014	19,563
経常利益	449,006	406,288
特別損失		
固定資産除却損	16,977	31,274
減損損失	5,746	18,024
店舗閉鎖損失引当金繰入額	127	-
特別損失合計	22,852	49,298
税引前四半期純利益	426,154	356,989
法人税等	180,668	149,011
四半期純利益	245,486	207,977

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。